

令和元年 9 月定例記者会見

【9 月 3 日(水) 午前 11 時 30 分／4 階特別会議室】

会見項目

- 1 幼児教育・保育の無償化について (こども課)
- 2 秋田県大仙市との友好交流都市協定の締結について (企画課)
- 3 令和元年度宮古市加工品コンクールについて (産業支援センター)
- 4 第 35 回みやこ秋まつりについて (観光課)
- 5 宮古港海戦 150 周年記念事業 仮装撮影会の開催・海戦船山車の運行について (観光課)
- 6 2019 やまびこフェスタについて (川井総合事務所)
- 7 客船「にっぽん丸」の宮古港発着クルーズについて (港湾振興課)
- 8 宮古サンマまつりについて (観光課)
- 9 道の駅たろう「第 2 回元祖サツパ市」について (田老総合事務所)
- 10 第 6 回宮古市長杯スナッグゴルフ大会について (生涯学習課)
- 11 令和元年記念「第 25 回宮古市産業まつり」について (産業支援センター)
- 12 第 33 回宮古サーモン・ハーフマラソン大会の参加者募集について (生涯学習課)

会見内容

別紙資料 1～12 のとおり。

記者との質疑

河北記者

大仙市との協定によって、宮古市にはどのような効果が期待できますか。

市長

大仙市とは秋田・岩手地域横軸連携の関係がありましたが、改めて、1 対 1 で個別に協定を結ぶことにより、お互いの良いところを伸ばしていきたいと考えています。現在、人事交流をしており宮古市からは大仙市の観光課へ、大仙市からは宮古市の企画課へ職員を派遣しています。教育の面では、秋田県の小学校の学力が高いので、教育をテーマに大仙市の教育方法を学び、宮古市の教育に生かそうと取り組んでいます。また、大仙市は海が無いので、宮古にしかない産物を持っていったりするなどしながら産業交流も行っています。イベントにおいても、大仙市の「秋の稔りフェア」などに参加し、大仙市民の皆様にもサンマなどの海産物を味わってもらおうなどしています。大仙市は花火が有名なので、宮古市のイベントでも打ち上げていただいているなど、今後とも互いに高

めあう関係を作っていきたいと思います。

河北記者

配布資料４の秋祭りの開催ですが、祭りの開催は何時からになりますか？踊りや山車は午後６時からですが、昼間は何時からやりますか？

市長

秋祭りは初日の１４日は正午から、２日目の１５日は１０時から開催しており、両日午後９時に終了となります。

岩手日報記者

配布資料１で、国の無償化に加え市独自の対策を行う目的は何ですか。

市長

国もですが、我々としても子育てしやすい街を目指しています。これまでに財源的な問題もあり、第２子からは２分の１、第３子は全額、保育料を無料にする取り組みをしてきました。今般、国が３歳から５歳に対して保育料の無償化、０歳から２歳は非課税者に対して保育料の無償化を打ち出しました。市としてはこれまで年間１億５千万円ほどの予算で子育てに関する支援を行ってきましたので、その範囲内で、例えば保育料が無償になる国の施策では副食費は負担が発生するという部分、０歳から２歳児については非課税者以外の課税者に負担が生じる保育料を、市が支援し子育てしやすい環境を整えてまいります。

岩手日報記者

対象になるのが、０歳から２歳の保育料支援は３５０人、３歳から５歳の副食費支援は７５０人となっていますが、それでよろしいですか。

市長

そのとおりです。

NHK記者

配布資料１についてですが、宮古市として独自の支援をするのは、どのような背景があるのですか。

市長

市としては、「子育てをする家庭に対して支援をしていきたい」という考えがあります。今までは全ての子どもではなく多子の家庭の負担の支援をしてきました。今回国が３歳から５歳の全ての子どもの保育料を無償にすることになり、市として財政状況を鑑み、３歳から５歳の副食費や非課税者以外の全ての家庭の０歳から２歳の保育料を無償化で確認できましたので、こうした対策をしていこうとしています。

岩手日報記者

独自の支援策を通して、どのような街づくりをしていきたいと考えていますか。

市長

子育てをする世代が、負担を感じないで、宮古市で子供を育てていくことができる

いう環境を作っていきたいです。

I A T 記者

配布資料 1 に関して、市内の保育施設は足りているのですか。対象者の未就学児の実数は何人ですか。

市長

現在、宮古市では待機児童はおりません。今回の支援策によりある程度保育需要は増えると考えており、民間にも定員増のお願いをしています。未就学での保育園等に入っていない児童の正確な数値は分かりませんが、宮古市で在宅で子育てをされている方には、7 か月から 1 歳までの子に在宅支援金という制度があり、その受給者は約 3 0 0 人となっていますので、おそらく 3 0 0 人前後ではないかと考えています。

I A T 記者

資料の 4 3 0 人というのは、現在の入所者数ですか。

市長

そのとおりです。

N H K 記者

配布資料 8 の宮古サンマ祭りに関連して、今週末の目黒のさんま祭りのサンマについて教えてください。

市長

今のところは宮古には一艘もサンマ船が入港していません。現状では、宮古港に水揚げされたサンマを持っていくのはかなり厳しい状況となっています。全国的に見ても北海道などに数トンしか水揚げされておられませんし、サンマのサイズも小型ばかりです。ここまで準備してきた目黒のさんま祭りにどうやって提供するかということになりますが、宮古市に水揚げされれば、宮古のサンマを提供しますが、厳しい場合は、市外のサンマを調達するなど考えています。日本自体にサンマの水揚げが無く、どうしても用意ができないという場合は、昨年水揚げされた冷凍のサンマを提供することも視野に入れています。今の冷凍技術は優れているのでサンマの状態も悪くありません。何とかして昔から続いているお祭りを途切れさせないという強い気持ちがあります。こうした縁で品川区と災害時の援助協定も結んでいます。東日本大震災で品川区から支援物資や職員を派遣していただいております。とてもありがたいことです。そのような関係もあるので、何とかイベントを成功させたいと考えています。

N H K 記者

サンマ 7, 0 0 0 匹は冷凍の場合、昨年宮古港に水揚げされたものですか。

市長

そのとおりです。

I A T 記者

配布資料 1 に関して、1 億 5 千万円かけていたものが、今回 1 億 2 千万円となるの

で、これだけ見れば市の負担は減っているということになることでよいですか。

市長

数字だけでいえばそうなりますが、需要が増せば増えることになります。もし予算が余ることになれば、他の子育てなどの施策をすることができると考えています。

岩手日報記者

無償化の施策は今後も続けていくという考えでよいですか。

市長

もちろん続けていく考えです。

NHK記者

宮古サンマ祭りもサンマが水揚げされなければ、目黒のサンマ祭りと同じような対応と考えていますか。

市長

そのように考えています。

幼児教育・保育の無償化について

趣旨・目的	幼児教育・保育の無償化が１０月から始まることに併せ、「安定した仕事を持って、子どもを幸せに育てられるまち」の実現と、定住化促進への取り組みのひとつとして、宮古市独自の追加支援策を実施し、無償化範囲を拡大する。
開始時期	令和元年１０月１日から
対象者	幼児教育・保育施設利用世帯
内容	就学前の子どもについて、年齢や所得に関わらず幼児教育・保育に係る費用を無償化する。 (1) ０～２歳保育料　： 国の施策により保育料が無償とならない課税世帯の保育料を、宮古市が負担。７９，０００千円。 (2) 副食費の無償化　： 国の施策により保育料が無償となり、副食費が実費徴収されることとなる方の副食費を、宮古市が負担。４０，０００千円。　　【配布資料のとおり】
財源	市単独費
特記事項	◎同様の支援を、県内の市で表明しているところは確認できていない。 ◎対象者は、(1) ０～２歳保育料約４３０人、(2) 副食費約７５０人を見込む。
問い合わせ	宮古市保健福祉部こども課　子育て支援係（☎６８－９０８４）

秋田県大仙市との友好交流都市協定の締結について

趣旨	秋田県大仙市とは、東日本大震災津波などの支援活動等において絆を深めてきた。 また、観光・物産、大曲の花火の招待事業のほか、スポーツ、教育など多くの交流を重ねている。 これまでの絆と交流実績を基に、交流をさらに推進し相互の発展を目指すため、友好交流都市協定の締結を行う。 【配布資料のとおり】
協定方針	両市の文化、気候、特産品などの異なる特長を活かした交流によって、産業、経済、文化、教育、スポーツなど幅広い分野において相互の発展に繋がる包括的協定とする。
日時	令和元年１０月５日（土）午前１１時 【配布資料のとおり】
会場	イーストピアみやこ 市民交流センター２階 多目的ホール 【配布資料のとおり】
主催	宮古市、秋田県大仙市 【配布資料のとおり】
内容	協定書への署名、記念品の交換など 【配布資料のとおり】
特記事項	宮古市産業まつりの開会式では、大仙市との協定締結を記念して、昼花火約３００発（例年：約１００発）が打ち上げられる。 【配布資料のとおり】
問い合わせ	宮古市企画部企画課（☎0193-68-9064） 【配布資料のとおり】

令和元年度宮古市加工品コンクールについて

趣旨 ・ 目的	市内で生産された農林水産物等を使用した加工食品を紹介、表彰し、 6次産業化や連携の推進、農林水産物の需要拡大につなげる。 【配布資料のとおり】
日時	令和元年9月5日(木) 午後1時～3時30分 【配布資料のとおり】
場所	いわて生協マリンコープDORA2階 【配布資料のとおり】
主催	宮古市 【配布資料のとおり】
内容	■対象者 市内に主たる事業所を持つ食品製造事業者など ■対象品 市内で水揚げ、生産された農林水産物を使用した加工食品。 本コンクールで過去に受賞歴のない加工食品。 ■出品数 10事業者・団体 16品 ■表彰 最優秀賞1点 優秀賞3点（加工食品の部、菓子の部、お土産品の部） ■スケジュール 13:00 開会 13:15～14:30 審査員審査 15:30 審査結果発表 【配布資料のとおり】
特記事項	◎今回で8回目の開催。 ◎審査は、市内小売店、飲食店、流通事業関係者など5人により行う。 ◎試食あり。報道機関の皆様も試食可。 ◎入賞者は、10月5日(土)、6日(日)に開催される令和元年記念第25回「宮古市産業まつり」ステージイベント内で表彰。 ◎出店事業者は9月22日(日)にマリンコープDORAで開催する販売会（予定）に参加可。 ◎参考：平成30年度最優秀賞は「王子のぜいたく至福のタラフライ」（三陸王国イカ王子） 【配布資料のとおり】
問い合わせ	市産業支援センター（☎68-9092） 【配布資料のとおり】

第35回みやこ秋まつりについて

趣旨・目的	まつりによる地域の活性化を目指し、昭和60年から始まり、今年で35回目となる「みやこ秋まつり」を開催する。
期日	9月14日(土)・15日(日)
場所	・手踊りパレード・船山車運行 宮古地区合庁～あいさつ通り～末広町～中央通～田町通り（向町） ・お祭り広場、ステージ 宮古駅前広場及び宮古駅東駐車場 【配布資料のとおり】
主催	みやこ秋まつり実行委員会
内容 14日 (土)	■時間 午後6時から ■内容 ・市民手踊りパレード：市内26団体・約1,500名参加予定 ・船山車運行：船山車3台・約200名参加予定 ■特記 ・毎年恒例の「仲見世バルパロス（サンバ）」、姉妹都市である黒石市より「黒石青年会議所（黒石よされ）」が参加する。 【配布資料のとおり】
内容 15日 (日)	■時間 午後6時から ■内容 ・市民手踊りパレード（市内1団体・約30名参加予定） ・船山車運行（船山車9台・約800名参加予定） ■特記 ・宮古港海戦150周年記念事業として、軍艦「回天」を模した船山車を運行する。 ・歌手の市川由紀乃（いちかわ ゆきの）さんが、復興応援歌完成記念として、船山車に乗船し、復興応援歌を披露する。 【配布資料のとおり】
特記事項	○市川由紀乃 復興応援歌完成披露発表会 ・日時 9月15日（日）午後3時から ・場所 イーストピアみやこ 多目的ホール
問い合わせ	みやこ秋まつり実行委員会（☎64-4230） 【配布資料のとおり】

宮古港海戦 150 周年記念事業

仮装撮影会の開催・海戦船山車の運行について

趣旨・目的	「宮古港海戦 150 周年記念事業」の目玉として、旧幕府軍の軍艦「回天」を模した^{ふなだし}船山車を作成し、みやこ秋まつりの^{ふなだし}船山車パレードへ参加する。 浄土ヶ浜では、幕末維新の偉人に仮装ができ、浄土ヶ浜をバックに撮影できる、仮装撮影会も開催する。 【配布資料のとおり】
内容 14日 (土)	みやこ秋まつり関連イベント 9月14日(土) ■幕末宮古港海戦絵巻、と題した仮装撮影会を開催 日時：9月14日(土) 午前10時から午後4時まで 参加費無料 場所：浄土ヶ浜レストハウス周辺 詳細：浄土ヶ浜を背景に、幕末維新の偉人の仮装をして撮影できる。 当日は、新撰組の衣装や、幕府軍の衣装などを、「宮古港海戦の会」の協力を得て、無料で貸し出し、着付けも行う。 自分で用意した衣装を着て、参加することも可能。
内容 15日 (日)	みやこ秋まつり関連イベント 9月15日(日) ■旧幕府軍の軍艦「回天」を模した^{ふなだし}船山車を作成し、パレードに参加 日時：9月15日(土) 午後6時から午後9時ころまで 場所：みやこ秋まつりパレードコース 詳細：参加者は広報で募集した市民のほか、実行委員会会員団体、市内中高生、宮古海洋技術短期大学校、^{えむでいーえす}MDS、^{たいじ ぶようじゅく}中川太治舞踊塾、宮古市国際交流協会の方々など。総勢80名(予定) 参加者は現在も募集中です。参加希望者は実行委員会まで
主催 問い合わせ 申し込み	宮古港海戦 150 周年記念事業実行委員会（事務局：宮古市観光課） （市観光課内 ☎68-9091） 【配布資料のとおり】

2019やまびこフェスタについて

趣旨・目的	「森・川・海」に象徴される特産品フェアと、宮古市川井が発祥の地である南部木挽唄の全国大会を開催し、「自然美のふるさとかわい」を発信する。
日時	9月14日(土)・15日(日) ※両日とも、午前10時～午後4時
場所	「道の駅・やまびこ館」イベント広場
主催	やまびこフェスタ実行委員会
内容	■地域特産品フェア（12ブース出店） 川井地域特産品を中心に、商工会議所及び地域内外から出店を募り、特産品を紹介、地元商店の活性化を図ります。 ■第19回南部木挽唄全国大会（募集中） 年長の部、一般の部で予選あり（年少の部は予選なし） 14日(土) 予選 年長の部、一般の部 15日(日) 決勝 年少の部、年長の部、一般の部 ■ステージイベント 14日(土) やまびこコンサート「デクノボーブラザーズ」※当市住民を含むバンド 前回大会優勝者唄披露「阿部愛音^{あの}さん」 ※大槌町出身 15日(日) やまびこミニコンサート「田中美沙^{みさき}季さん」※雫石町出身ソプラノ歌手 やまびこコンサート「木原たけしさん」 ※奥州市出身演歌歌手 ■野外イベント（両日とも） 木挽体験コーナー、スナッグゴルフコーナー、福引抽選 【配布資料のとおり】
特記事項	◎昨年の来場者数は、約7,500人。
問い合わせ	市川井総合事務所 地域振興係（☎76-2114）

客船「にっぽん丸」の宮古港発着クルーズについて

趣旨・目的	昨年５月に寄港した客船「にっぽん丸」が宮古発着クルーズで、今年も宮古港に寄港する。 岸壁での歓送迎アトラクションや、市民参加によるお見送りなどを行う。
日時	９月２０日（金） 出港：午前１１時 ９月２２日（日） 入港：午後４時 【配布資料のとおり】
場所	宮古港藤原ふ頭（Ｆ９バース） 【配布資料のとおり】
主催	宮古港利用促進協議会・宮古市 【配布資料のとおり】
内容	■出港セレモニーや岸壁での歓送迎アトラクション、市民参加による見送り、出迎えなどを行う。 <u>９月２０日（金）（出港：午前１１時００分）</u> ◆宮古保育園児童による「マーチングバンド」（午前１０時００分～、午前１０時５０分～） ◆出港セレモニー（午前１０時１５分～） ◆来場者参加によるお見送り（ＵＷビッグフラッグ、大漁旗、カラータオルを使ってのお見送り） <u>９月２２日（日）（入港：午後４時００分）</u> ◆神風宮古流星海による「よさこいソーラン」（午後３時３０分～） <u>停泊中（両日）</u> ◆サーモンくん、みやこちゃんのエアートランポリン設置 ◆サーモンくん、みやこちゃんの着ぐるみ歓迎・お見送り 【配布資料のとおり】
特記事項	◎客船「にっぽん丸」は、昨年５月に続き通算１５回目の寄港。 ◎会場内への一般の入場は可能。
問い合わせ	宮古港利用促進協議会事務局 市港湾振興課内（☎６８－９０９３） 【配布資料のとおり】

宮古サンマまつりについて

趣旨・目的	サンマを中心とする宮古の海産物を活用したイベントを行うことで、観光客の誘致や販路及び消費の拡大を図る。
日時	9月21日(土) 午前9時30分～午後2時30分 【配布資料のとおり】
場所	宮古市魚市場隣接岸壁 【配布資料のとおり】
主催	一般社団法人宮古観光文化交流協会 【配布資料のとおり】
内容	■主なイベント内容 ◇サンマお振る舞い（先着2,000名） サンマは、会場に用意した炭火の焼き台で、自分自身で焼いて、アツアツを味わっていただく。 ◇サンマつかみ捕り（参加料500円、先着200名） ◇スーパーボールでサンマをGET（参加料200円、先着100名） ◇ラグビーボールキックゲーム（参加料500円、先着80名） ◇大根おろし早おろし大会（参加無料） ◇MOPSダンスショー ◇小田代直子歌謡ショー 【配布資料のとおり】
特記事項	◎宮古駅と会場を結ぶ「無料シャトルバス」を運行。 ◎昨年は「浜焼きフェスタ」として開催したイベントを今回「宮古サンマまつり」として開催。
問い合わせ	一般社団法人宮古観光文化交流協会（☎62-3534） 【配布資料のとおり】

道の駅たろう「第２回 元祖サッパ市」について

趣旨・目的	道の駅たろうにおいて２回目となる「元祖サッパ市」を開催する。 魅力ある地元特産品のＰＲ・直売及び各種イベント等を開催することにより、道の駅たろうの知名度と認知度を高め、田老地区の振興と活性化を図ることを目的に開催する。 【配布資料のとおり】
日時	令和元年９月２９日（日） 午前１０時～午後３時 【配布資料のとおり】
場所	道の駅たろう 【配布資料のとおり】
主催	道の駅たろう連絡協議会（事務局：田老総合事務所） 【配布資料のとおり】
内容	■会場内でサッパ船（１１艘）を使ったイベントを実施 ・サッパ船で特産品を販売。 ・サッパ船に乗って食事や記念写真の撮影。 ■その他 ・秋の味覚まつたけ・きのこの直売会。 ・午前１１時から産直とれたらうで「豚汁」の無料お振舞いをする。 （無くなり次第終了） ・会場内で購入した「さんま」は、無料で貸出しする七輪でその場で焼いて食することができる。 ・バンド演奏などのステージイベントを予定。 【配布資料のとおり】
特記事項	◎ノスタルジックカー in MIYAKO 2019を開催し、昭和に製造された往年の名車約３０台を展示する。 ◎元キックボクシング世界チャンピオン キックの神様 藤原敏男さん（旧田老町出身）を迎えてのトークショーを行う。 【配布資料のとおり】
問い合わせ	田老総合事務所 （☎８７－２９７１） 【配布資料のとおり】

第6回宮古市長杯スナッグゴルフ大会について

趣旨・目的	子どもから大人まで気軽に楽しめるスナッグゴルフを通じて、岩手県の子どもたちや、子どもたちを囲む大人たちの元気につなげていくことを目的に実施する。
日時	9月29日(日) 午後1時～3時45分 【配布資料のとおり】
場所	ふれあい公園芝生広場(小山田) 【配布資料のとおり】
主催等	主催：一般社団法人日本ゴルフツアー機構 共催：宮古市、宮古市教育委員会 協力：一般社団法人日本高等学校ゴルフ連盟 【配布資料のとおり】
内容	■市内の小学2年生～6年生を対象としたスナッグゴルフ大会 (9ホール合計ストロークで順位を競う) ◇参加料……………無料 ◇申込期限……………9月17日(火) ◇申し込み方法…日本高等学校ゴルフ連盟へ所定の参加申込書でFAX 又はメールで申し込みのこと (FAX：06-6379-3583、E-mail：kidsgolf@jgto.jp) 【配布資料のとおり】
特記事項	◎平成26年から開催された大会で今回が6回目。 【過去の開催実績】 ・第1回大会(平成26年5月18日、場所：ふれあい公園)24人参加 ・第2回大会(平成27年8月22日、場所：ふれあい公園)28人参加 ・第3回大会(平成28年9月3日、場所：グリーンピア三陸みやこ)16人参加 ・第4回大会(平成29年9月24日、場所：グリーンピア三陸みやこ)29人参加 ・第5回大会(平成30年9月22日、場所：ふれあい公園)19人参加 【配布資料のとおり】
問い合わせ	市教育委員会 生涯学習課 体育振興係(☎68-9120) ※大会の詳細については、大会事務局の山田氏(☎080-1220-5687) 【配布資料のとおり】

令和元年記念「第25回宮古市産業まつり」について

趣旨・目的	宮古市の地域経済を支える団体、企業などが一同に会して開催する。 地域生産物の販売や製品・活動展示などを通じ、地域産業への理解を深め、生産意欲の向上を図ることを目的とする。 【配布資料のとおり】
日時	令和元年10月5日（土）午前9時30分～午後4時 10月6日（日）午前9時30分～午後3時 【配布資料のとおり】
場所	宮古市民総合体育館 【配布資料のとおり】
主催	宮古市産業まつり実行委員会 【配布資料のとおり】
内容	■販売・展示 特産品・地場産品の販売、姉妹都市等物産展、企業紹介など ■イベント オープニングセレモニー（オープニング演奏、大仙市提供「<u>昼花火</u>」320発）、ステージイベント、お楽しみ抽選会、<u>市加工品コンクールの表彰及び受賞作品販売</u>、<u>宮古港海戦150周年記念講談（アマチュア講談師 地伏亭金目さん）</u> ■共催事業 地産地消まつり、小中学生ものづくり体験教室、つどいの広場「すくすくランド」 【配布資料のとおり】
特記事項	■出店者数 <u>133団体（販売92、展示41）が参加（昨年比8団体増）</u> ※北海道からの出店 …………… 6団体 （室蘭市、苫小牧市、胆振地域） ※北海道以外の関係市町村等からの出店 ……… 19団体 （黒石市、八幡平市、多良間村、大仙市、神山町、遠野市、山田町、岩泉町、本州四端協議会） ■内容詳細 9月下旬頃、ポスターやチラシとともに報道機関へ情報提供予定 【配布資料のとおり】
問い合わせ	宮古市産業まつり実行委員会 （市産業支援センター内 ☎68-9092） 【配布資料のとおり】

第 33 回宮古サーモン・ハーフマラソン大会の参加者募集について

趣旨・目的	第 33 回となる宮古サーモン・ハーフマラソン大会の参加者を募集中。 【配布資料のとおり】
期日	11月10日(日) 【配布資料のとおり】
主催	宮古サーモン・ハーフマラソン大会実行委員会（構成員：宮古市、宮古市教育委員会、株式会社エフエム岩手、一般財団法人宮古市体育協会ほか） 【配布資料のとおり】
部門	ハーフマラソンの部、10キロの部、5キロの部、ペアマラソンの部 【配布資料のとおり】
申し込み	・参加資格：小学生以上で健康に自信のある人 ・参加料：一般3,000円、高校生・中学生1,200円、ペアマラソンの部3,500円 ・申し込み方法：郵便振替、または、インターネット（ランネット）から申し込み可能 ・申し込み締め切り：9月30日(月) 【配布資料のとおり】
特記事項	・ゲSTRランナー：「青山学院大学陸上競技部」 ・本大会にてハーフマラソンの部を完走した方を対象に抽選で3名（男女合わせて）にTokyo Marathon 2020（一般の部）出走権を贈呈 ・今回からの種目区分変更点 ① ハーフマラソン一般女子の部を39歳以下と40歳以上の2つに変更 ② 上記に伴い、10キロと5キロの女子の年齢区分も39歳以下と40歳以上に変更 ※前回までの区分は、「ハーフは一般女子のみ」、「10キロ及び5キロは、29歳以下、30歳以上」 ※昨年度参加者数 3,120人 【配布資料のとおり】
問い合わせ	宮古サーモン・ハーフマラソン大会実行委員会事務局 (一般財団法人宮古市体育協会内、☎62-6000) 【配布資料のとおり】